

安城発！大玉・高糖度の新品種 甘ひびき収穫スタート！ 【地元農家の猪飼孝志さんの育成品種です！】

JAあいち中央梨部会（部会長：神谷和志）は、7月28日頃から、同部会の部会員が育成した梨の新品種「甘ひびき」の収穫を始めます。「甘ひびき」は、大玉で糖度が高いことが最大の特長で、安城市の猪飼孝志さんが育成（開発）したものです。

現在、甘ひびきの苗木の供給は、地元特産品種としてブランド力を強化するため、部会員に限定しています。現在栽培面積を拡大中のため、今年は約5千玉の数量限定生産となります。当JAのファーマーズマーケットでんまあと安城西部と産直センター「道の駅」の2店舗のみで、主に贈答用として販売します。

当部会では他にも、「愛甘水」「幸水」「豊水」「あきづき」「新高」の5品種を栽培し、「安城梨」として10月上旬まで出荷が続きます。



昨年の出荷検討会で甘ひびきの説明をする猪飼さん（中央）

新品種の梨「甘ひびき」とは？

「甘ひびき」は、安城市橋目町の猪飼孝志さんが極早生品種の梨「愛甘水」をもとに育成し、2010年3月に品種登録されました。出荷は今年で3年目となります。

（「愛甘水」も猪飼さんが自らが育成した梨です。）

<「甘ひびき」の魅力>

- ・「愛甘水」よりも大玉で、大きいものでは800g以上
- ・糖度は13度以上と甘みが強い
- ・水分を多く含むため、ジューシーでシャキシャキとした食感



幸水よりも大ぶりの梨です

JAあいち中央梨部会

部会員：131人（内、甘ひびき栽培農家24人）

栽培面積：45ha（内、甘ひびきは0.5ha）

収穫時期：愛甘水（7/20頃～7月末）、甘ひびき（7/28頃～8/12頃）、
幸水（8月上旬～8/20頃）、豊水（8/25頃～9月上旬）、
あきづき（9/10頃～9月下旬）、新高（9/25頃～10月上旬）

総出荷量：約400t（全品種で）

流通先：甘ひびき以外の梨は中京市場を通じて、愛知県と岐阜県で販売します。

（お問い合わせ先）生産者のご紹介をさせていただきます。

JAあいち中央 総合企画部 企画課（広報担当：平岩・杉浦） TEL：0566-73-5504
FAX：0566-73-5513 HP：<http://www.jaac.or.jp/> E-mail：kouhou@jaac.or.jp